

利用統計とオープンアクセス情報のマッチングによる 電子ジャーナル費用対効果分析ツール Unsub.org

2022年の春先より急激な円安が進行し、そのまま2024年10月現在、\$=150円前後の為替状況となっております。そうした厳しい状況は、次期契約の更新時期を迎えた電子ジャーナル等の費用大幅上昇の外的要因として影響を避けられません。大学図書館様の資料費のなかで一番コストがかかる電子ジャーナルの費用対効果を分析するツールであるUnsub.orgをご案内申し上げます。

Unsub.orgとは？

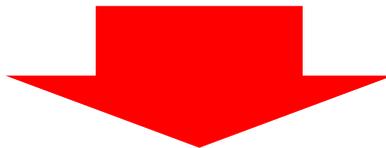
Unsub.orgとは、オープンアクセス(OA)のコンテンツを探すブラウザの拡張機能サービスで有名なUnpaywallを提供しているOur Research社が作成する電子ジャーナルの費用対効果を分析するためのツールです。各大学図書館様でご契約されているジャーナルのパッケージの収録情報や個別タイトルの価格を利用統計とオープンアクセスの情報とマッチングさせることでご契約電子ジャーナルの費用対効果を精査することを可能にします。

ハイパードル高・円安で電子ジャーナルのコストが大幅に高騰



2021年10月 TTS 平均レート	\$=114.11
2021年11月 TTS 平均レート	\$=115.14
2024年8月 TTS 平均レート	\$=147.43
2024年9月 TTS 平均レート	\$=144.54

コロナ禍における特別対応も終了して通常の原因上昇も負担になるところに円安が直撃



図書資料費を圧迫する電子ジャーナル予算の費用対効果を分析するためのツール

利用統計とオープンアクセスの確認による正しい費用対効果に基づいた賢いご契約方法を実現します。ユーザーとステークホルダーを満足させる方策をエビデンスに基づいて様々なシナリオを設定いたします。

Unsub.orgの詳細お問い合わせは弊社までお申し付け下さい

日本販売代理店 **極東書店**



ほとんどの海外学術出版社ジャーナルの費用対効果の分析が可能になりました



1年間の利用統計をもとに電子ジャーナルの費用対効果を分析するツール

ご契約されている個別タイトルの価格やパッケージの収録情報、出版社ごとの利用統計、価格表、Open Access のデータベースである Unpaywall による 25 万人利用の集計データに基づいて分析シミュレーションを実行します。



Cost per Use での分析により、①コストの最適化、②ビックディールの価値の確認、③継続可能なジャーナル購読について意思決定の材料をご用意いたします。

様々な角度からご契約内容を分析するためにご活用ください

- ・予算逼迫によるビックディール契約の解体の検討
- ・Open Access 論文の利用が多いジャーナルの購読停止
- ・利用が特定のジャーナルに集中している場合のトランザクションからジャーナル購読への変更
- ・利用が一定の研究分野に偏っている。もしくは拡散している場合にジャーナル購読からトランザクションへの変更 etc...



株式会社 極東書店

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp